

“この時代だからこそ”のあそび場の役割 あそび場が作り出すコミュニティ意識

～ 人と人を結ぶあそび場の意義 ～

携帯電話やメールなどのコミュニケーション手段の発達、セキュリティの重視、生活の多忙さといった様々な理由で、昔のような“ご近所付き合い”も希薄になりがちな近年、周囲の住民が気づかない間に、幼児の虐待や置き去り死事件、所在不明の高齢者の発覚など、悲しい事件が増加しています。

ボーネルンドは30年に渡り、子どもの健全な成長に必要な体験が安全にできる豊かなあそび環境を創造しています。幼稚園・保育園、集合住宅共有部や公園から医療施設、子ども部屋の提案など、実績は約30,000ヶ所となりました。コミュニケーションが取りやすい住環境作りは、少しでも、こういった事件の軽減に役立つのではないかと考えています。

今回は、ボーネルンドのあそび場作りの中でも最近増加している、マンション建設の際の共有スペースとなるあそび場作り、お年寄りとお年寄りが交流できる画期的な保育園でのあそび場作りのご紹介です。

子どもに必要な“3間”作り

近年、子どもたちのあそび環境に必要な“3間”が減少しています。“3間”とは、空間・仲間・時間のこと。この“3間”を充実させることで、子ども達は様々な経験を積みながら、のびのびと遊ぶことができます。あそびの空間が仲間を作り、成長を地域で支える環境と豊かな時間が生まれてきます。

大規模マンション『ユトリシア』（千葉県習志野市）



『ユトリシア』

事業主：有楽土地ほかJV（共同事業）

竣工：2010年3月（弐番街）

場所：千葉県習志野市



千葉県習志野市にあり、1,453家族が入居する大規模マンション『ユトリシア』は、子どもを育むことや豊かなふれ合いの時間を育むことを重視し、様々な共用施設を設けています。その中の一つが、ボーネルンドプロデュースの全天候型「キッズルーム&ママラウンジ」。年齢の異なる子ども達が遊べる遊具を適所に配置した「あそび場」に住人が集まることで、コミュニティ形成の一助になっています。また、住民同士のふれあいが“自然な監視”につながり、治安の向上にも役立っています。マンション内の体育館にボーネルンドの大型遊具を導入したイベントを開催した際は、何度も来場するご家族もいらっしや、より一層住民の交流が深まっています。大規模マンションは、多くの人の生活の場でありひとつの街のようなもの。「あそび場」は、現代のコミュニティ消失や、「子育て」ならぬ「孤育て」「個育て」となりがちな状況の解決策になる可能性を持っています。

お年寄りと子ども・・世代を超えて、あそびがつなぐ園庭環境

お年寄りのあたたかな眼差しに見守られながら活発に遊ぶ子どもたちの笑い声・・こんな光景は、最近見ることが少なくなりました。子どもたちの成長の場となるあそび環境が、子ども同士で遊ぶだけでなく、お年寄りとの交流により、世代を超えた対話や関わりに喜びを感じることが子どもたちの思いやりの心を育て、健やかに育つ環境となります。

保育園『 赤城育心保育園 』（群馬県前橋市）



『 赤城育心保育園 』

竣工：2010年5月

場所：群馬県前橋市



群馬県赤城山中腹にあるこの園は、お年寄りのためのデイサービスセンターを同施設内に持つ保育園です。自然に恵まれた環境のこの園では、「子どもたちは、自分が体験したことを言葉にできなくても、体験そのものを新鮮に、そして、敏感に受けとめる力を持っており、その感性が、他人に共感したり、自分より弱い立場にある人を思いやる心を育てる」という想いの下、改修時に、お年寄りとの交流ができる懐の深い環境作りを行いました。細長い敷地を上手く活かしたゾーニング、お年寄り子どもたちが自然と関わることができる環境、「静」「動」の遊びの調査、発達段階の異なる子どもたちがそれぞれのあそび欲求を満たすことができる環境という課題を乗り越えてできた園庭は、子どもたちに様々な変化を起こしました。子どもたち同士のあそびが増えた結果、あそびに発展性が見える、お年寄りが戸外に出やすくなり子どもたちとの交流が盛んになるなど、子どもからお年寄りまでがくつろぎ楽しめる園庭が実現しました。お年寄りの暖かな眼差しに見守れながら、活発に遊ぶ子どもたち、日々子どもと触れ合うことで活力を得るお年寄り・・・保育とデイサービス施設が見事に融合しています。

ポーネルンドとは

ポーネルンドは、“あそびの道具と環境”を提供することを通じて子どもの健全な成長に寄与するため、1981年に設立。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国約80カ所で直営店舗を運営しています。また、同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万カ所まで拡大しています。

【発行元・本件に関するお問合せ】

株式会社ポーネルンド 広報担当：吉岡・猪野

TEL：03-5785-0860 FAX：03-5785-0861

E-mail：yoshioka@bornelund.co.jp / ino@bornelund.co.jp